

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [Sherry 英語教室] 担当教諭名 [塩飽 隆子] (中学1-3年 5名)

相手国・地域 [クロアチア]

海外学校名 [Privatna Sportska I Jezična Gimnazija Franjo Bučar] 担当教諭名 [Petra Zenić]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	英語	SDGs: 世界の課題について話し合おう	20
	課外活動	お互いの想いを形にしよう	8

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Let's make our world a safer and better place to live in!
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	SDGs の「質の高い教育」「気候変動」「海の豊かさ」「陸の豊かさ」の学習を通して、一人一人の意識と行動で世界を良くしようというメッセージを壁画に込めました。 We all have to work together and take actions to make our world a safer and better place to live.



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
SDGs をテーマにクロアチアの相手と話し合うことで、日本の課題も世界の課題も自分事としてとらえるようになった。対面ではなくフォーラムを使って文章でのやりとりではあったが、世界の相手と英語で議論することに少し自信が持てた。	自分の考えを英語でまとめて相手に伝え、相手の意見を読んで理解して英語で意見を返すのに時間との戦いが常にあった。もっとビデオで考えを伝えたり、ビデオ会議で直接話し合いをする機会を持ちたかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
日本で起きている環境の変化や自然災害などの問題が世界と繋がっていて共通の課題だと実感をもって考えるようになった。クロアチアの同世代と話し合いを重ね、お互いの想いを合わせて一つの作品を完成させたことで、自分たちは将来様々な国の人々と協働して何かをしたいという気持ちになった。	SDGs をテーマに海外の相手と学習をすることで、自分たちだけで考えるより切実感が増して問題意識が高まる様子が生徒にみられ、協働学習の意味をあらためて認識した。また、英語をコミュニケーションのツールとして使う力が格段に上がることが分かった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	10月	スタートが遅かったため、SDGs と絡めた自己紹介をパワーポイントで作成してフォーラムにアップした。相手からも同様の自己紹介があった。	各自がSDGsのどの目標で学習したかを、これまでに自分が読んだり聞いたり体験したりしたことを元に考えることでSDGsへの関心が強まった。	英語
共有 テーマ学習	11月	相手と相談して「質の高い教育」「気候変動」「海の豊かさ」「陸の豊かさ」にテーマを絞った。各テーマについて調べたことをパワーポイントにまとめてフォーラムで共有した。お互いの意見に対して質疑応答を繰り返した。	日本の課題とクロアチアの課題が共通のこともあれば、かつて日本が経験した公害問題をクロアチアが現在経験していること、それぞれが抱えている問題が違うことも分かって、地球レベルの問題をリアルに感じるようになった。	英語
融合 メッセージ作成	11月 12月	これまで4つのテーマで話し合ってきたことを一つのメッセージにまとめるために、まず自分たちの意見をまとめて提案し、相手と話し合って決めた。	これまで多くの意見を出し合ってきただけに、短いメッセージにまとめるのが大変な様子だった。最終的にクロアチア案を元にブラッシュアップして決定した。	英語
創造 壁画制作	12月	人間がこれまでに地球に負荷をかけたために生じた問題と私たちが問題を解決してより良い環境になった地球を描いた。	人間の活動によって起きた自然破壊や災害などの現状と、自分たちの活動によって美しく再生する未来を明確に分けて、想いを込めて表現していた。	課外活動
評価 振り返り 自己評価	2月	完成した壁画を鑑賞してクロアチアとのこれまでの学習を振り返った。	双方の想いが伝わる作品になっていることに達成感を感じていた。全体を振り返って、精一杯相手と意見交換ができたことに満足していた。	英語

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	3	文化というよりは、SDGs の課題を通して日本の過去・現在・未来をあらためて考える機会になった。
異文化を理解する力	4	クロアチアという国や人々のことをほとんど知らなかったのので、どういった文化があるのかを相手から教えてもらってとても関心を持っていた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	5	インターネットで収集した情報と自分のこれまでの知識や経験をつなげて考えて、自分ならではの意見を発信することができた。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	英語で意見をまとめて話し合いをするのに相当の時間と労力を要したが頑張る姿が見られた。ビデオ会議で直接話し合いができなかったことは心残り。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	歴史も環境も文化も違う相手と意見交換をすることで、客観的に物事を見て考える力が少しずつ付いているように思える。
主体的に考え行動する力	5	どの場面でも積極的に取り組んでいた。クラス内でも自分の意見をきちんと人に伝えていた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	5	自分たちメンバーの中で協力する場面は多く見られ、相手とも一緒に学習を進めているという意識で取り組んでいる様子が見られた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	自分たちの想いをメッセージに込めることができた。壁画制作でもメッセージを表す絵が描けたと満足している様子だった。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	完成した壁画を見て達成感を感じている様子だった。学習の自己評価にもっと時間をかけるべきだったと反省が残る。